

## 【樹木の部屋】

### ツリージャーマンダー（シソ科ニガクサ属 *Teucrium fruticans*）

**和名**：ツリージャーマンダー **別名**：クリオネ

**英名**：Tree Germander、Shrubby Germander、Bush Germander

シソ目 常緑小低木 **原産地**：スペイン

**花言葉**： **花の色**： 紫



← 写真-1 ツリージャーマンダー  
撮影日：2018年04月21日  
撮影場所：メテオラ  
(ギリシャ)にて  
撮影者：M さん

↓ 写真-2 ツリージャーマンダー  
(花)  
撮影日：2018年04月26日  
撮影場所：サントリーニ島  
(ギリシャ)にて  
撮影者：M さん



↑ 写真-3 ツリージャーマンダー(葉)  
撮影日：2018年04月26日  
撮影場所：サントリーニ島(ギリシャ)にて  
撮影者：M さん



ギリシャ北部のカランバカにあるメテオラのメガロ・メテオロン修道院中庭に咲いていました。その後、訪れたサントリーニ島のワイン博物館前の花壇でも見かけました。ともかく、不思議な形の花でした。

株立ちしてよく分枝し、茎は直立～斜上します。枝葉には芳香があり、全体が毛で覆われて銀灰色になりますが、古くなると毛が脱落し、光沢がある濃緑色になります。葉は先がやや尖った楕円形～卵形で、ごく浅い波状の鋸歯があるか、全縁で、対生。5～6月頃、茎上部の葉腋に薄紫色で、下唇弁が大きく3裂し、雌蕊1本と雄蕊4本が噴水のように弓なりに突き出る唇形花を1個ずつつけ、数段が穂状になり、遮蔽や縁取りとしても植栽されます。

育て方として年々枝を広げるために剪定が必要ですが、栽培容易な強健な植物です。丸くカットしてトピアリー仕立ても可能です。

ただし、鉢植えの場合、特に高温多湿となる梅雨から夏の環境が苦手です。このため、枝を切る剪定によって風通しを良くすることが必要です。

横に広がり立ち上がるためにグランドカバーとしても利用可能だそうですが、枝が4方向に広がるために強風が吹き込む方角に植え付けるのは避け、さらに花殻が落ちやすい為、遮蔽や縁取りとして栽培する場合には花殻を定期的に取り除くこともポイントです。